

年頭のごあいさつ

新年おめでとうございます。

皆様には輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は統計開始以降最も暑い夏となり、まさに「地球沸騰化時代の到来」を予感させる一年となりました。また、国際情勢も混迷の度を増しており、市民生活や経済活動への影響が懸念されております。

一方、新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、各種イベントの再開や市内での国際会議・全国大会の開催、観光客の増加などで多くの方をお迎えすることができました。また、セーフコミュニティ国際認証再取得や好調な企業立地、さらには音楽・スポーツにおける活躍など明るい話題も相次ぎ、市民の皆様の懸命な御努力によりコロナ禍を乗り越えつつあることを実感した一年でもありました。

さて、いよいよ本年は市制施行100周年の記念すべき年です。先人たちが築かれた歴史や功績を振り返るとともに、次の100年の礎となる「郡山ルネサンス」のスタートの年にいたしましょう。

私たちは今、時代の転換点、大きな変化に直面しております。すなわち、

- 1 地球温暖化があらゆる分野に影響を及ぼす「気候変動」
- 2 少子高齢化、人口減少という「人口変動」
- 3 利便性を高め、人口変動を補完する「デジタル変動」
- 4 経済のグローバル化による「為替・物価変動」
- 5 社会経済や災害対策などに立体的視点が必須になる「三次元変動」です。

これらの変動、さらには2030年のSDGs目標年限、2050年のCO2排出量実質ゼロなど、将来不可避の課題からバックキャストで捉え、「ベビーファースト」の理念のもと、DXを加速させるとともに、市民・団体・事業者などの皆様との「公民協奏」によるGXにも積極的に取り組んでまいります。

先人から受け継いだ「開物成務」の精神で、そして今後100年間の市民の皆様からも評価いただけるよう、誰一人取り残されず、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる、「ウェルビーイングなまち郡山」の実現を、ともに目指してまいります。

「ひらけ 未来へ こおりやま」

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となることを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。